

若手職員へのアンケート

～入省5年目までの若手職員に聞きました～

Q 就職先として厚生労働省を選んだ理由は？

- 予算、審査を通じ、一日でも早く必要とする人に医薬品を届けるため
- 今必要とされる薬の開発の支援に携わりたいため
- 食品衛生と薬事に興味があり、どちらにも関わる機会のある厚労省薬系技官に魅力を感じた
- 医薬品の開発や食品の安全管理に興味があったから
- 過去に長期入院した経験があり患者目線の医療を推進したいと考えたため
- 薬学部だったので、業務内容のイメージが相対的に湧きやすかったことと、最終的には官庁訪問時の雰囲気自分があってそうだったこと
- 薬事行政に関わり、より良い制度設計に貢献したかったため
- 大学に厚労省職員の方が講演に来て、いろいろなことができておもしろそう！と思ったから
- 経験できる仕事の幅が広い。がんばっている薬剤師の活動を普及していきたい
- 革新的な新薬を迅速に上市する仕組みづくりに携われると思ったため
- 薬剤師の業務内容の見直しに携わりたいと思ったため
- 難病の治療薬が開発・実用化される社会であってほしいと思っており、厚生労働省では様々な形で関わることを考えたため
- 日本の医療の制度設計をするのがおもしろそうと思ったから

Q 厚生労働省で働いてよかったと感じることは？

- 国のルール作りに関われること、1年目から大きな仕事を任せてもらえること
- いろいろな分野の第一人者の方から話が聞ける
- 幅広く様々なことに触れることができること
- 仕事にやりがいがあっておもしろい。若手でも、裁量が大きい(その分、責任も大きい)。
- 社会に必要で影響力のある案件に携われ、若手のうちから意思決定に関与できること
- 若手のうちから行政としての意思決定に何度も関わることができること
- 最先端の技術や情報に触れる機会が多いこと。また、様々な分野でトップレベルの専門家と一緒に仕事ができること
- 優しくて愉快的な人が多いこと

Q 入省時と印象が異なった点や、「意外だな」と感じた点は

- 休みが取れる(マンスリー休暇)
- 意外と早く帰れる
- 思ったよりOJT重視な印象がある
- ある管理職の大大先輩は今でも論文を日常的に読んでいたり、学術論文を書いたりしていると知り驚いた
- 省庁によって人のカラーが異なる。厚労省には厚労省なりのカラーがある
- 休みがとりやすい。
- 職場がわきあいあいとしている。お堅い人が意外と少ない
- 「デスクワークが多い」というように思っていたが、そうでもなかった(いろんな人の間を、調整のために走り回るの)
- 明るい人が多い
- 意外と上司は優しい

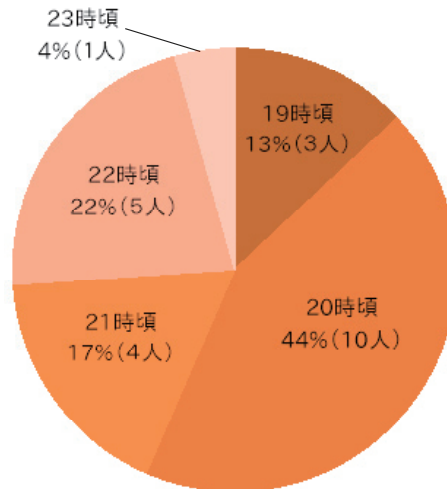
Q 一番大変だったことはなんですか？

- 想像以上に業務量が多かった
- 仕事のスピードが早いこと
- 1000ページの告示の記載チェック
- 右も左もわからないのに、最初からいきなり実践に放り込まれること。新人を丁寧に教育する余裕がないので、慣れるまでは大変
- 突発的な事件への対応
- 法改正時に通知を出しまくったこと
- 28時頃に自転車を使って国会議事堂に官房長官の答弁資料を持ち込んだこと
- 作業量のある案件が一時期重なったこと
- 役所で当然の前提とされる知識や感覚が身につくまでは上司や先輩の会話が3割ぐらしか理解できなかった。1,2年で身についてくると思う

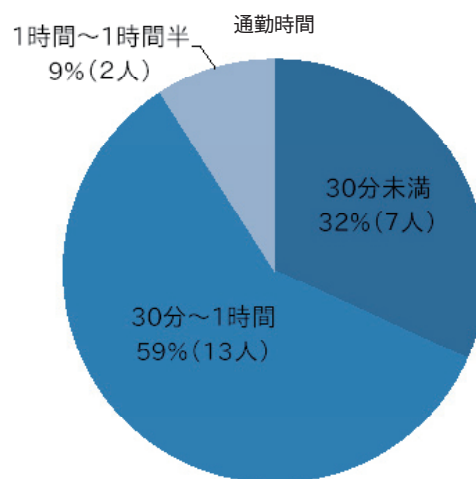
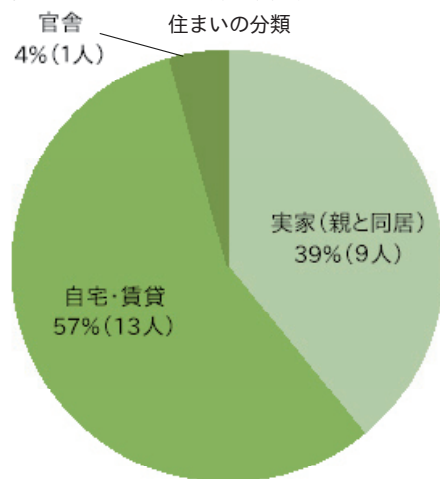
Q 薬学部以外の職員にとって薬系技官の業務はどうですか？

- 配属されてから勉強すればなんとかなる
- 業務に必要な知識は（薬学部でも薬学部以外でも）どっちにしろ勉強する必要がある
- 必要な知識は都度勉強する必要はあるが、今のところ、なんとかなる、という印象
- 慣れるまでは大変だけれども、慣れると意外と薬学・臨床の知識もついてくるのでハンディは感じていない
- （難しい薬の名前などはあるが）薬系だからといって、必ずしも専門知識がないと仕事ができないわけではないという印象
- 入省直後は、知識がなくて困ったこともあったが、業務を通じて必要な知識を身につけてくるので、最近では不便に感じることもなくなってきた

Q 平均的な退庁時間は？



Q 住まいと通勤時間は？



Q 休日は何をして過ごしていますか？

- 掃除、料理
- 旅行
- 散歩
- 睡眠
- ゲーム
- 英会話教室
- 映画鑑賞
- ジム・フットサルに行く
- 友達とご飯に行く、一人で新しい店（ご飯屋）を開拓する
- デート
- 録り貯めのドラマ視聴の消化
- 楽器の練習
- 読書
- クラシックギターの合奏団で練習や演奏会への出演など
- 映画を見たり友達と飲んだり喫茶店に行ったり

Q 学生時代にやり残したことは？

- 研究
- 勉強をもっとまじめにすべきだった
- 一人暮らし
- 海外旅行
- 恋愛
- いろいろなバイト
- 英語の勉強
- 趣味に全力を注いでおきたかった…。学生の方が自由に時間が使えるので
- 楽器の練習
- 海外留学をしたかった